

第 2 2 回大阪府学校教育審議会

「障害のある幼児児童生徒の自立を支援する教育のさらなる推進」の論点

I 府立知的障害養護学校のあり方

- ・ 在籍児童生徒数の増加への対応や就労を通じた社会的自立の促進について
（教育環境や教育内容についてのハード・ソフト両面における検討）

II 知的障害のある生徒の高等学校における学習機会の充実

- ・ 自立支援推進校、共生推進モデル校の今後の方向について

III 義務教育における「ともに学び、ともに育つ」教育の推進

- ・ 養護学級在籍児童生徒の教育環境（主にソフト面）の充実について

IV 一人ひとりのニーズに応じた教育の充実

- ・ 個別の教育支援計画や個別の指導計画の効果的な活用による個に応じた教育の充実について

V 府立盲・聾・養護学校のセンター的機能の発揮

- ・ 小・中学校、高等学校等への支援機能の充実について

（ I については、別途、府教育委員会内部のプロジェクトチームにおいて、
専門家の助言を得ながら検討中（資料 4 参照） ）